

揖斐川町
男女共同参画に関する
町民アンケート調査結果報告書

令和5年10月

揖 斐 川 町

目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	1
II	調査結果	2
	(1) 回答者属性	2
	(2) 男女共同参画に関する意識・現状について	7
	(3) ワーク・ライフ・バランスについて	34
	(4) 新型コロナウイルス感染症に関する影響について	40
	(5) ドメスティック・バイオレンス（DV：配偶者・パートナーからの暴力）について	42
	(6) 地域活動や防災について	45
	(7) 町の男女共同参画づくりの推進施策について	48

I 調査の概要

1 調査の目的

「揖斐川町第3次男女共同参画プラン」策定のための基礎資料とするため

2 調査対象

18歳以上70歳未満の男女各1,000人（計2,000人）を無作為抽出

3 調査期間

令和5年7月～令和5年8月

4 調査方法

郵送配布・郵送回収方式

5 回収状況

配布数	有効回答数	有効回答率
2,000通	700通	35.0%

6 調査結果の表示方法

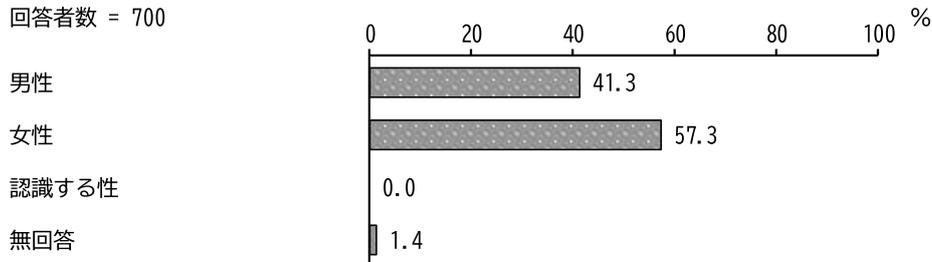
- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。また、クロス集計において回答者数が1桁の場合は、コメントを差し控えています。

II 調査結果

(1) 回答者属性

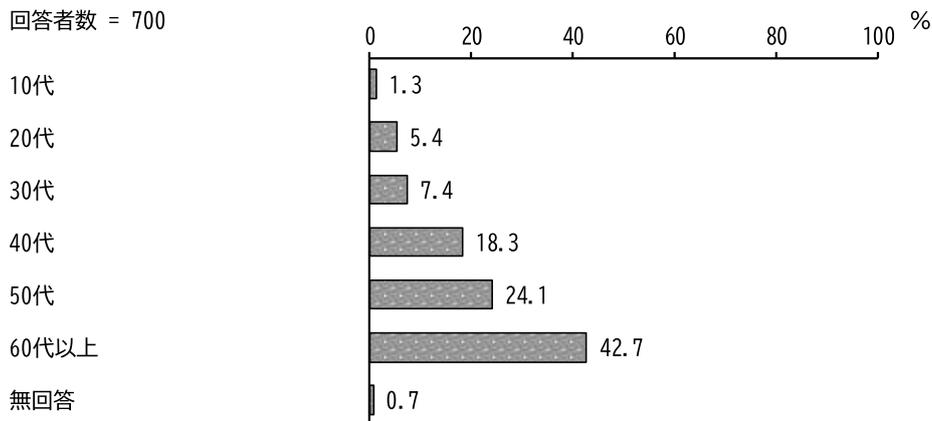
問1 性別をお答えください。(ご自身が認識する性でお答えください。)(○は1つ)

「女性」の割合が57.3%と最も高く、次いで「男性」の割合が41.3%となっています。



問2 年齢をお答えください。(○は1つ)

「60代以上」の割合が42.7%と最も高く、次いで「50代」の割合が24.1%、「40代」の割合が18.3%となっています。



【性別】

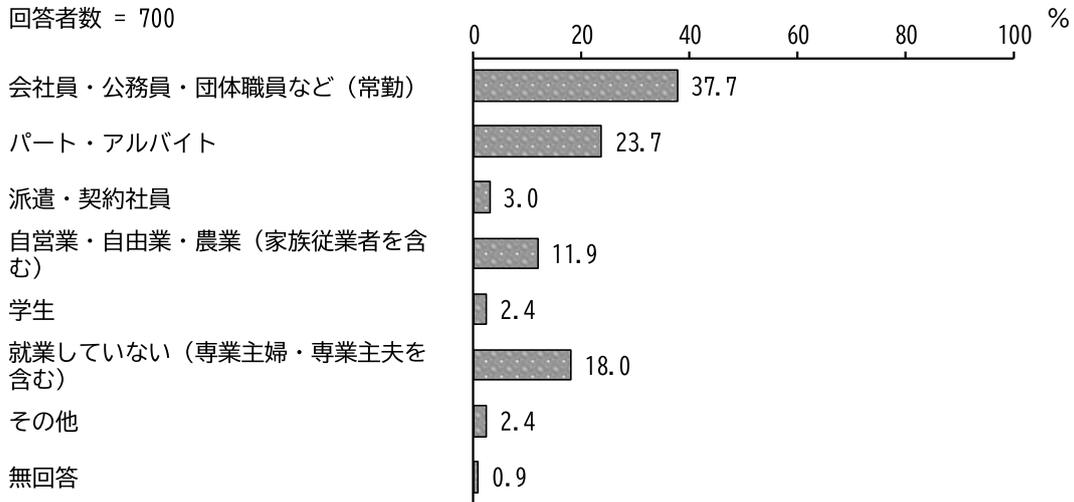
性別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数(件)	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	無回答
全体	700	1.3	5.4	7.4	18.3	24.1	42.7	0.7
男性	289	0.7	5.9	5.9	18.7	22.1	46.7	—
女性	401	1.7	5.0	8.5	18.2	25.7	40.6	0.2

問3 職業をお答えください。(○は1つ)

「会社員・公務員・団体職員など（常勤）」の割合が 37.7%と最も高く、次いで「パート・アルバイト」の割合が 23.7%、「就業していない（専業主婦・専業主夫を含む）」の割合が 18.0%となっています。



【性別】

性別にみると、男性で「会社員・公務員・団体職員など（常勤）」の割合が高くなっています。

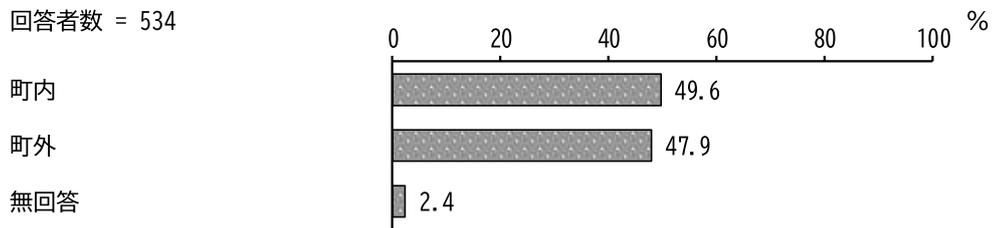
単位：%

区分	回答者数 (件)	会社員・公務員・団体職員 など（常勤）	パート・アルバイト	派遣・契約社員	自営業・自由業・農業 (家族従業者を含む)	学生	就業していない（専業主婦・専業主夫を含む）	その他	無回答
全体	700	37.7	23.7	3.0	11.9	2.4	18.0	2.4	0.9
男性	289	56.7	6.6	3.8	16.3	2.4	10.7	3.5	—
女性	401	24.7	36.2	2.5	9.0	2.5	22.9	1.7	0.5

【問3で「1」～「4」と答えた方におたずねします。】

問3-1 あなたの勤務地を教えてください。(○は1つ)

「町内」の割合が49.6%、「町外」の割合が47.9%となっています。



【性別】

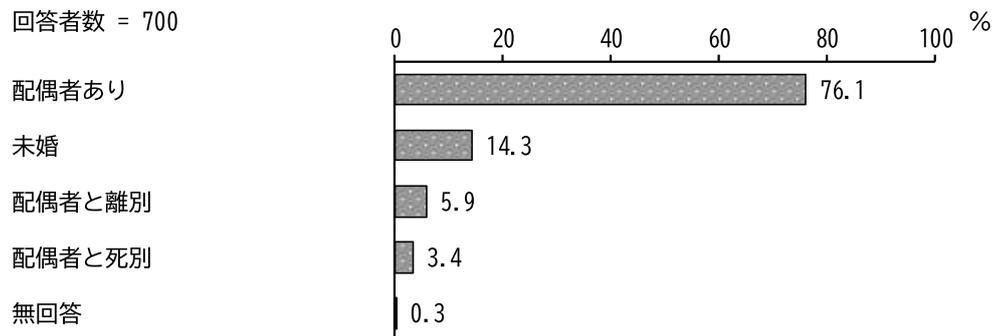
性別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	町内	町外	無回答
全体	534	49.6	47.9	2.4
男性	241	46.5	49.8	3.7
女性	290	52.4	46.2	1.4

問4 配偶者はいますか。(婚姻届を出していない事実婚を含む。)(○は1つ)

「配偶者あり」の割合が76.1%と最も高く、次いで「未婚」の割合が14.3%となっています。



【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

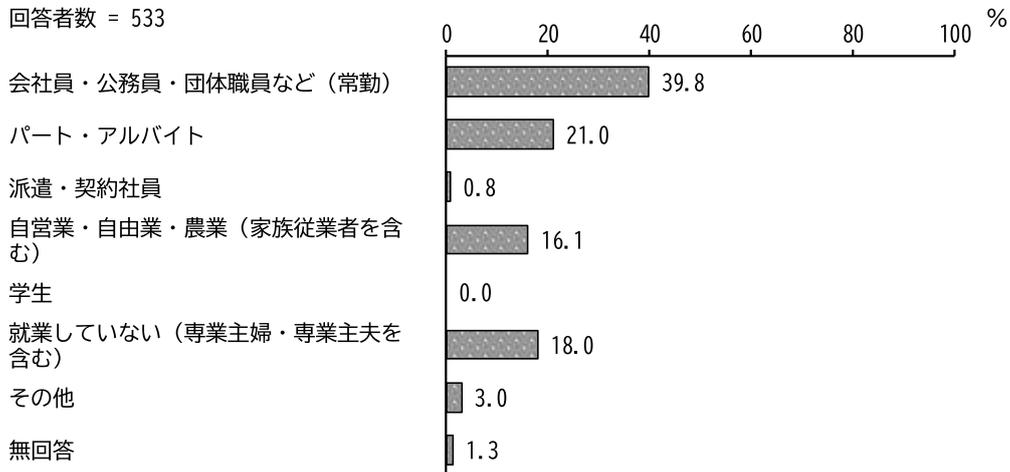
単位：%

区分	回答者数 (件)	配偶者あり	未婚	配偶者と離別	配偶者と死別	無回答
全体	700	76.1	14.3	5.9	3.4	0.3
男性	289	72.7	19.0	6.2	1.4	0.7
女性	401	78.6	11.0	5.5	5.0	—

【問4で「1. 配偶者あり」と答えた方におたずねします。】

問4-1 配偶者の職業は何ですか。(○は1つ)

「会社員・公務員・団体職員など（常勤）」の割合が 39.8%と最も高く、次いで「パート・アルバイト」の割合が 21.0%、「就業していない（専業主婦・専業主夫を含む）」の割合が 18.0%となっています。



【性別】

性別にみると、男性で「パート・アルバイト」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	会社員・公務員・団体職員など (常勤)	パート・アルバイト	派遣・契約社員	自営業・自由業・農業 (家族従業者を含む)
全体	533	39.8	21.0	0.8	16.1
男性	210	21.9	44.3	1.0	9.0
女性	315	52.1	5.7	0.6	21.3

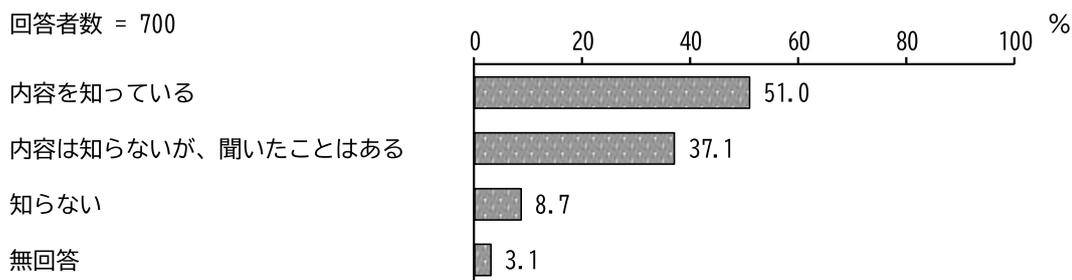
区分	学生	就業していない (専業主婦・専業主夫を含む)	その他	無回答
全体	-	18.0	3.0	1.3
男性	-	22.4	1.4	-
女性	-	15.2	4.1	1.0

(2) 男女共同参画に関する意識・現状について

問5 次にあげるAからIの言葉のうち、その内容について知っているものはありますか。(それぞれ○は1つずつ)

A. 男女雇用機会均等法

「内容を知っている」の割合が51.0%と最も高く、次いで「内容は知らないが、聞いたことはある」の割合が37.1%となっています。



【性別】

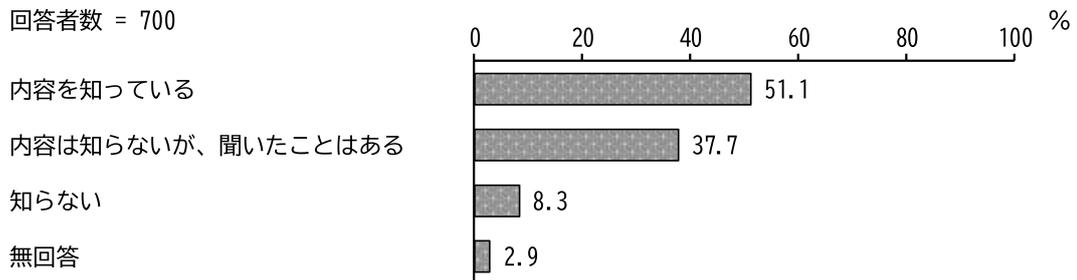
性別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	内容を知っている	内容は知らないが、聞いたことはある	知らない	無回答
全 体	700	51.0	37.1	8.7	3.1
男性	289	53.6	39.4	5.2	1.7
女性	401	49.1	35.7	11.0	4.2

B. 育児・介護休業法

「内容を知っている」の割合が51.1%と最も高く、次いで「内容は知らないが、聞いたことはある」の割合が37.7%となっています。



【性別】

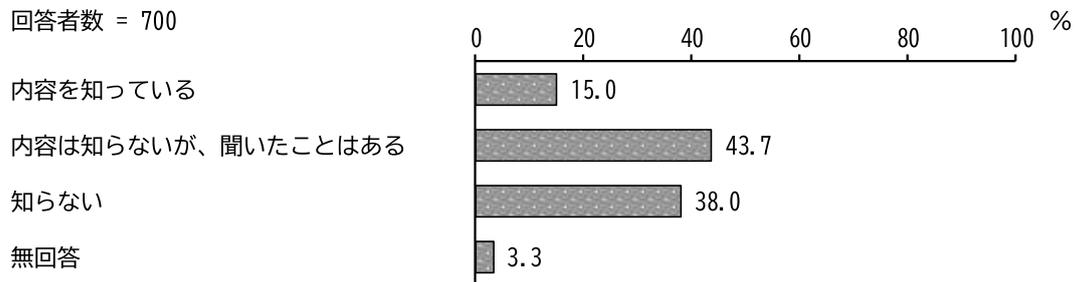
性別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数(件)	内容を知っている	内容は知らないが、聞いたことはある	知らない	無回答
全体	700	51.1	37.7	8.3	2.9
男性	289	48.4	39.4	10.0	2.1
女性	401	53.4	36.2	7.0	3.5

C. 女性活躍推進法

「内容は知らないが、聞いたことはある」の割合が43.7%と最も高く、次いで「知らない」の割合が38.0%、「内容を知っている」の割合が15.0%となっています。



【性別】

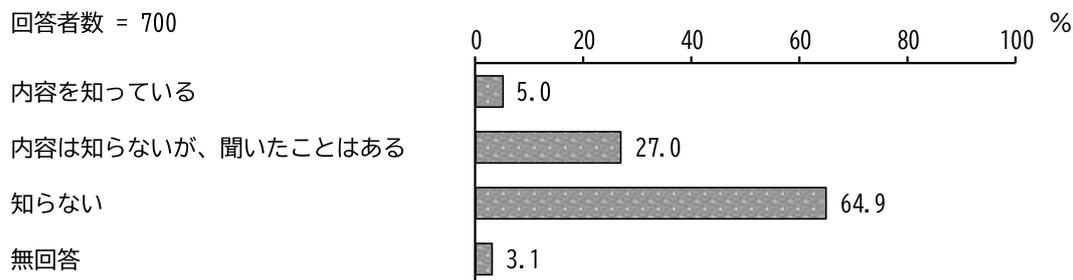
性別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数(件)	内容を知っている	内容は知らないが、聞いたことはある	知らない	無回答
全体	700	15.0	43.7	38.0	3.3
男性	289	16.6	46.7	34.3	2.4
女性	401	13.7	41.4	40.9	4.0

D. ポジティブ・アクション（積極的改善措置）

「知らない」の割合が 64.9%と最も高く、次いで「内容は知らないが、聞いたことはある」の割合が 27.0%となっています。



【性別】

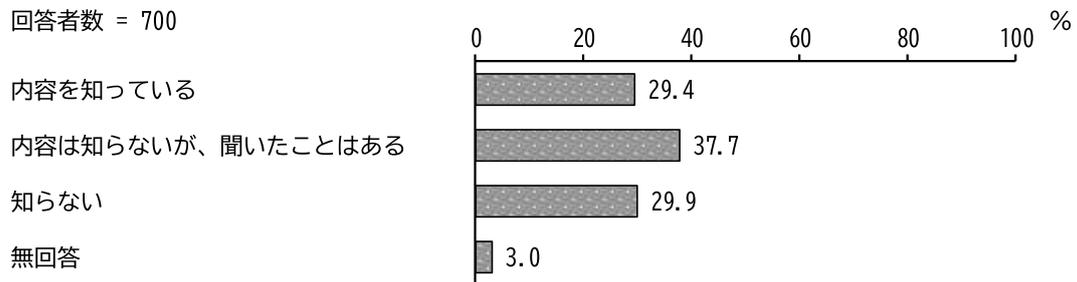
性別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	内容を知っている	内容は知らないが、聞いたことはある	知らない	無回答
全体	700	5.0	27.0	64.9	3.1
男性	289	6.9	28.7	62.3	2.1
女性	401	3.5	26.2	66.3	4.0

E. ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）

「内容は知らないが、聞いたことはある」の割合が 37.7%と最も高く、次いで「知らない」の割合が 29.9%、「内容を知っている」の割合が 29.4%となっています。



【性別】

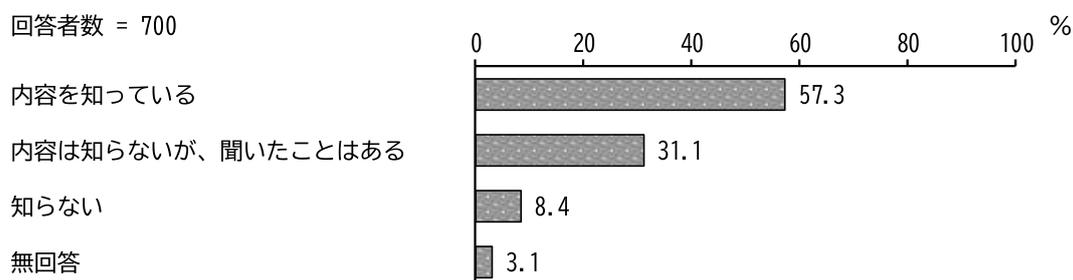
性別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	内容を知っている	内容は知らないが、聞いたことはある	知らない	無回答
全 体	700	29.4	37.7	29.9	3.0
男性	289	33.2	37.0	27.7	2.1
女性	401	26.9	38.2	31.2	3.7

F. ジェンダー（社会的・文化的につくられた性別）

「内容を知っている」の割合が57.3%と最も高く、次いで「内容は知らないが、聞いたことはある」の割合が31.1%となっています。



【性別】

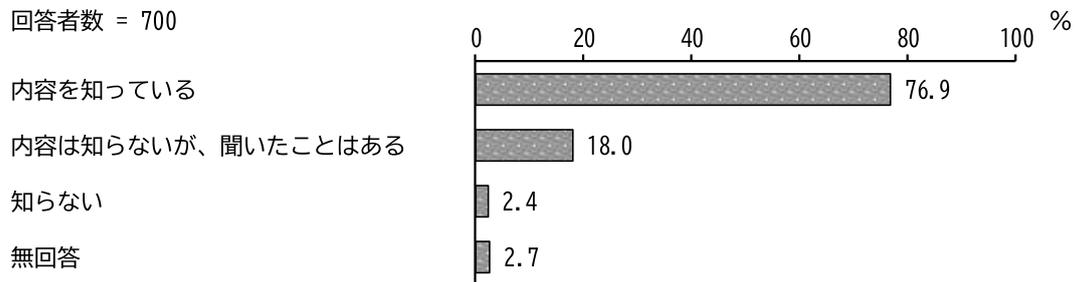
性別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	内容を知っている	内容は知らないが、聞いたことはある	知らない	無回答
全 体	700	57.3	31.1	8.4	3.1
男性	289	51.9	35.6	10.4	2.1
女性	401	60.6	28.4	7.0	4.0

G. DV（ドメスティック・バイオレンス）

「内容を知っている」の割合が76.9%と最も高く、次いで「内容は知らないが、聞いたことはある」の割合が18.0%となっています。



【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	内容を知っている	内容は知らないが、聞いたことはある	知らない	無回答
全 体	700	76.9	18.0	2.4	2.7
男性	289	72.7	22.5	2.8	2.1
女性	401	80.0	14.5	2.2	3.2

H. 揖斐川町男女共同参画プラン

「知らない」の割合が 65.4%と最も高く、次いで「内容は知らないが、聞いたことはある」の割合が 27.0%となっています。

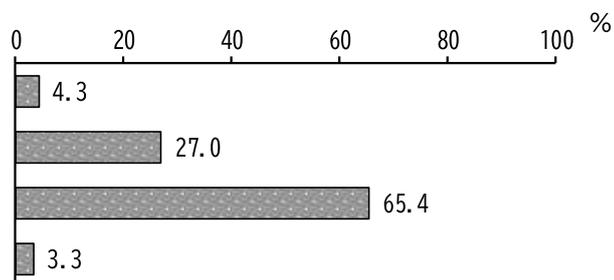
回答者数 = 700

内容を知っている

内容は知らないが、聞いたことはある

知らない

無回答



【性別】

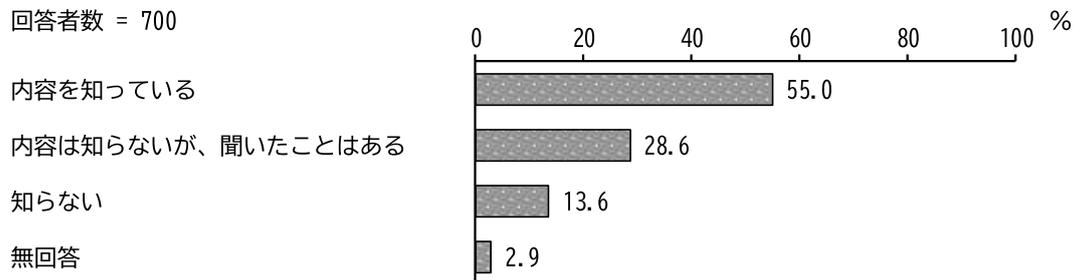
性別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	内容を知っている	内容は知らないが、聞いたことはある	知らない	無回答
全 体	700	4.3	27.0	65.4	3.3
男性	289	4.8	24.6	67.8	2.8
女性	401	4.0	28.4	63.8	3.7

I. LGBT

「内容を知っている」の割合が55.0%と最も高く、次いで「内容は知らないが、聞いたことはある」の割合が28.6%、「知らない」の割合が13.6%となっています。



【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

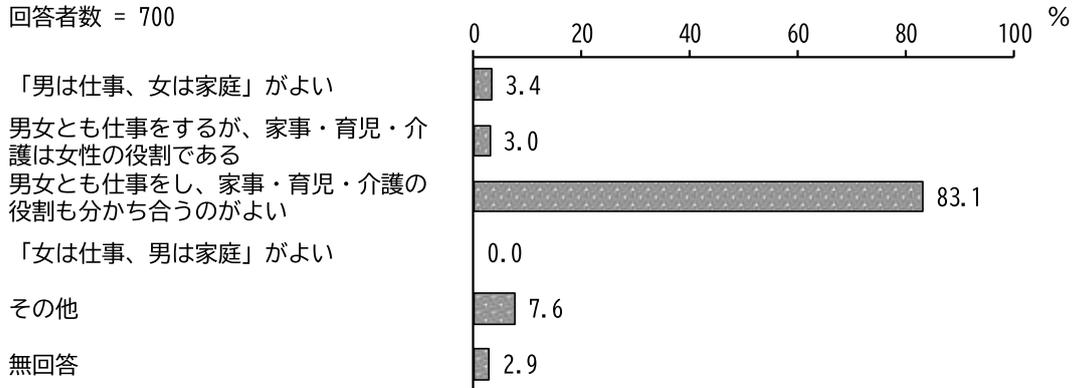
単位：%

区分	回答者数 (件)	内容を知っている	内容は知らないが、聞いたことはある	知らない	無回答
全 体	700	55.0	28.6	13.6	2.9
男性	289	50.5	29.4	17.6	2.4
女性	401	57.9	28.7	10.5	3.0

問6 「男は仕事、女は家庭」に代表されるように、性別によって男女の役割を決めるような考え方についてどのように思いますか。(○は1つ)

「男女とも仕事をし、家事・育児・介護の役割も分かち合うのがよい」の割合が83.1%と最も高くなっています。

回答者数 = 700



【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

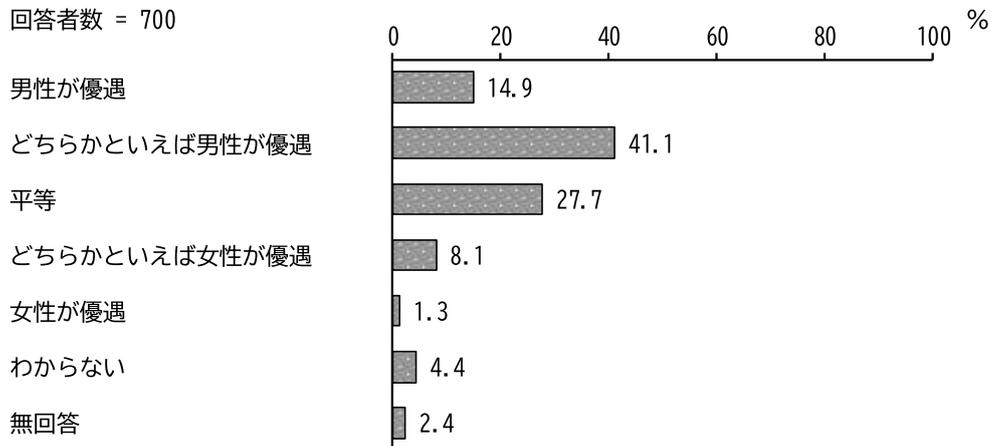
単位：%

区分	回答者数(件)	「男は仕事、女は家庭」がよい	男女とも仕事をし、家事・育児・介護の役割も分かち合うのがよい	「女は仕事、男は家庭」がよい	その他	無回答
全体	700	3.4	83.1	—	7.6	2.9
男性	289	4.5	77.2	—	9.7	2.1
女性	401	2.7	87.5	—	5.7	3.5

問7 次にあげるAからJで男女の地位は平等になっていると思いますか。
(それぞれ○は1つずつ)

A. 家庭生活の中

「どちらかといえば男性が優遇」の割合が41.1%と最も高く、次いで「平等」の割合が27.7%、「男性が優遇」の割合が14.9%となっています。



【性別】

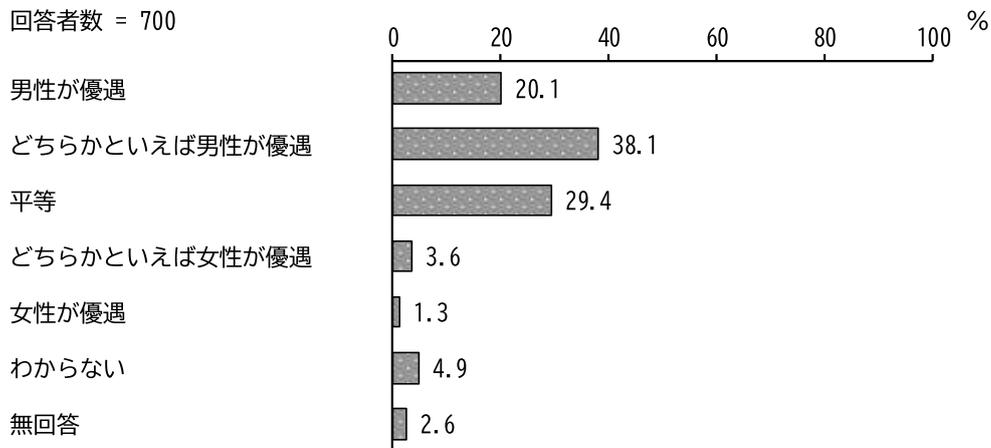
性別にみると、男性で「平等」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	男性が優遇	どちらかといえば男性が優遇	平等	女性が優遇	どちらかといえば女性が優遇	女性が優遇	わからない	無回答
全体	700	14.9	41.1	27.7	8.1	1.3	4.4	2.4	
男性	289	10.0	35.3	38.1	9.3	2.1	3.5	1.7	
女性	401	18.2	45.9	20.2	6.7	0.7	5.2	3.0	

B. 職場

「どちらかといえば男性が優遇」の割合が 38.1%と最も高く、次いで「平等」の割合が 29.4%、「男性が優遇」の割合が 20.1%となっています。



【性別】

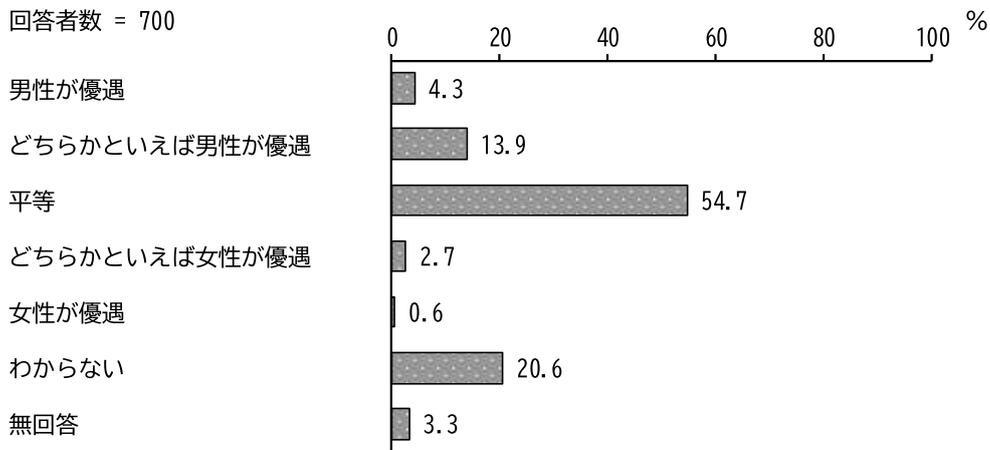
性別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	男性が優遇	男性が優遇 どちらかといえば	平等	女性が優遇 どちらかといえば	女性が優遇	わからない	無回答
全体	700	20.1	38.1	29.4	3.6	1.3	4.9	2.6
男性	289	14.5	39.8	31.8	5.9	2.1	4.2	1.7
女性	401	24.2	37.7	27.2	2.0	0.7	5.0	3.2

C. 学校教育の場

「平等」の割合が54.7%と最も高く、次いで「わからない」の割合が20.6%、「どちらかといえば男性が優遇」の割合が13.9%となっています。



【性別】

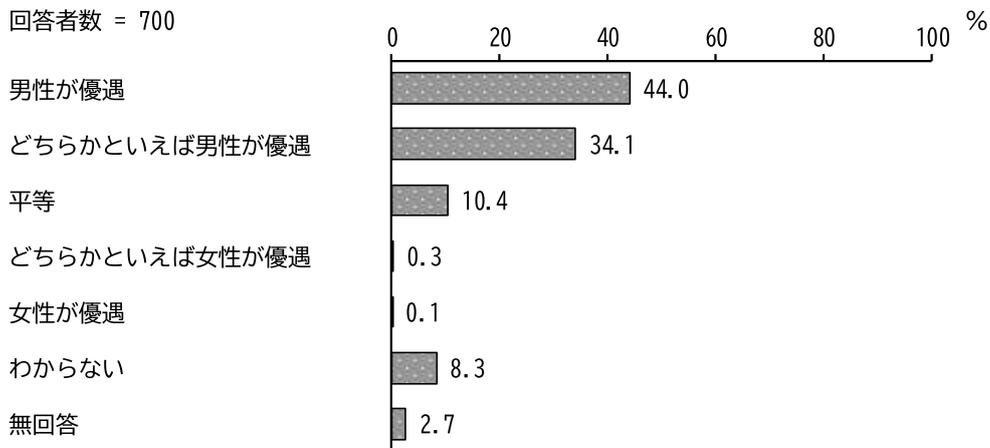
性別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数(件)	男性が優遇	男性が優遇 どちらかといえば	平等	女性が優遇 どちらかといえば	女性が優遇	わからない	無回答
全体	700	4.3	13.9	54.7	2.7	0.6	20.6	3.3
男性	289	4.2	8.0	59.5	4.2	0.3	21.1	2.8
女性	401	4.5	18.2	51.1	1.5	0.7	20.2	3.7

D. 政治の場

「男性が優遇」の割合が44.0%と最も高く、次いで「どちらかといえば男性が優遇」の割合が34.1%、「平等」の割合が10.4%となっています。



【性別】

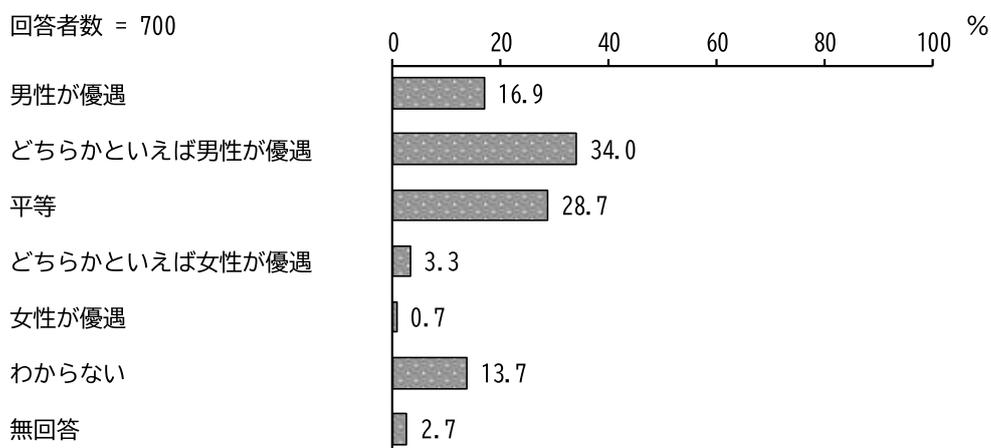
性別にみると、女性で「男性が優遇」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	男性が優遇	男性が優遇 どちらかといえば	平等	女性が優遇 どちらかといえば	女性が優遇	わからない	無回答
全体	700	44.0	34.1	10.4	0.3	0.1	8.3	2.7
男性	289	37.4	37.4	14.5	0.7	0.3	7.6	2.1
女性	401	49.1	32.2	7.0	—	—	8.5	3.2

E. 法律上や制度上

「どちらかといえば男性が優遇」の割合が 34.0%と最も高く、次いで「平等」の割合が 28.7%、「男性が優遇」の割合が 16.9%となっています。



【性別】

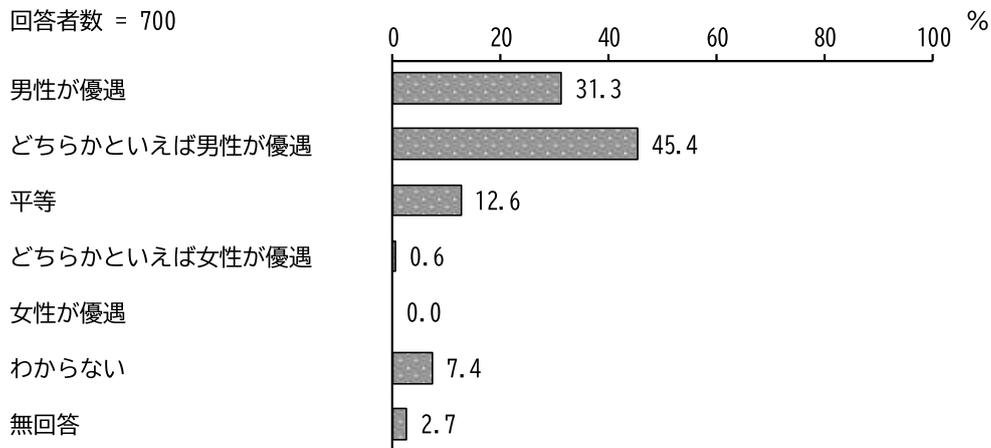
性別にみると、男性で「平等」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	男性が優遇	どちらかといえば男性が優遇	平等	どちらかといえば女性が優遇	女性が優遇	わからない	無回答
全体	700	16.9	34.0	28.7	3.3	0.7	13.7	2.7
男性	289	12.5	28.4	39.1	5.5	1.4	11.1	2.1
女性	401	20.0	38.2	21.2	1.7	0.2	15.5	3.2

F. 社会通念・慣習・しきたり

「どちらかといえば男性が優遇」の割合が45.4%と最も高く、次いで「男性が優遇」の割合が31.3%、「平等」の割合が12.6%となっています。



【性別】

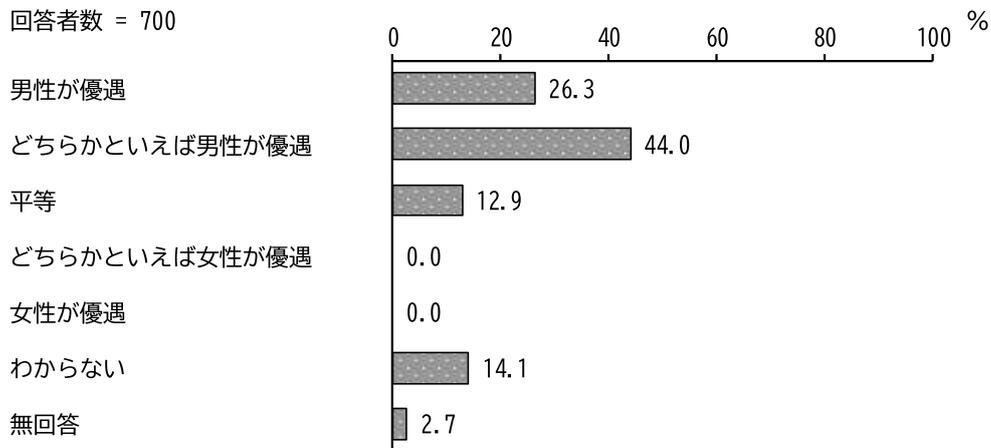
性別にみると、女性で「男性が優遇」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	男性が優遇	どちらかといえば男性が優遇	平等	どちらかといえば女性が優遇	女性が優遇	わからない	無回答
全体	700	31.3	45.4	12.6	0.6	—	7.4	2.7
男性	289	23.2	50.2	16.6	1.0	—	6.9	2.1
女性	401	36.7	42.6	9.5	0.2	—	7.7	3.2

G. 家業の後継者選び

「どちらかといえば男性が優遇」の割合が44.0%と最も高く、次いで「男性が優遇」の割合が26.3%、「わからない」の割合が14.1%となっています。



【性別】

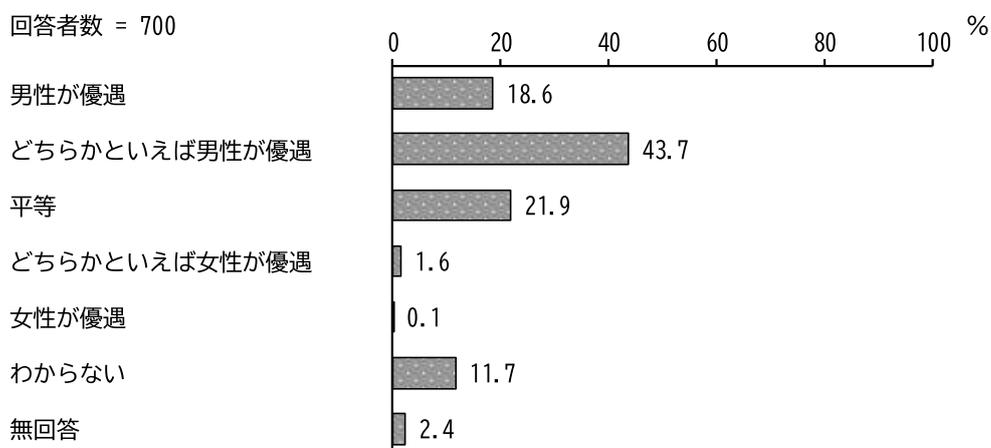
性別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数(件)	男性が優遇	どちらかといえば男性が優遇	平等	女性が優遇	どちらかといえば女性が優遇	わからない	無回答
全体	700	26.3	44.0	12.9	—	—	14.1	2.7
男性	289	20.4	45.0	17.6	—	—	14.5	2.4
女性	401	30.4	43.9	9.0	—	—	13.7	3.0

H. 地域の中

「どちらかといえば男性が優遇」の割合が 43.7%と最も高く、次いで「平等」の割合が 21.9%、「男性が優遇」の割合が 18.6%となっています。



【性別】

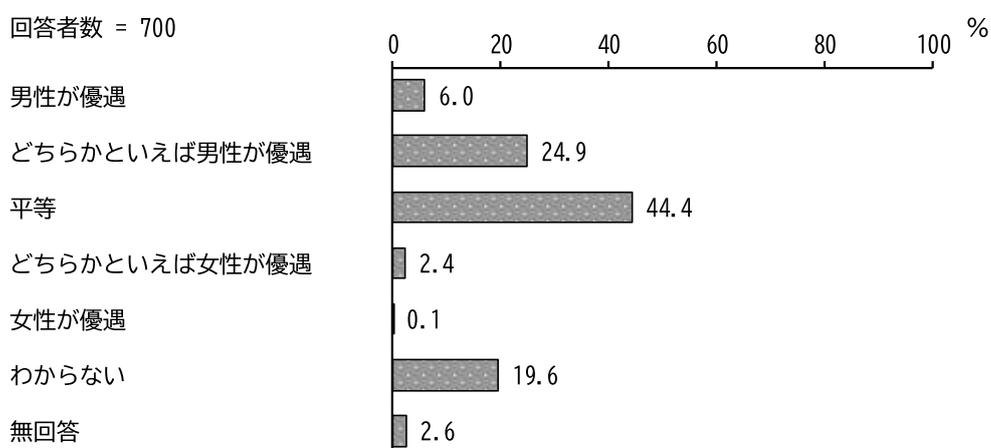
性別にみると、男性で「平等」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	男性が優遇	どちらかといえば男性が優遇	平等	どちらかといえば女性が優遇	女性が優遇	わからない	無回答
全体	700	18.6	43.7	21.9	1.6	0.1	11.7	2.4
男性	289	11.4	45.0	30.1	1.7	0.3	9.3	2.1
女性	401	23.7	42.9	16.0	1.5	—	13.2	2.7

I. ボランティアなど団体活動の場

「平等」の割合が 44.4%と最も高く、次いで「どちらかといえば男性が優遇」の割合が 24.9%、「わからない」の割合が 19.6%となっています。



【性別】

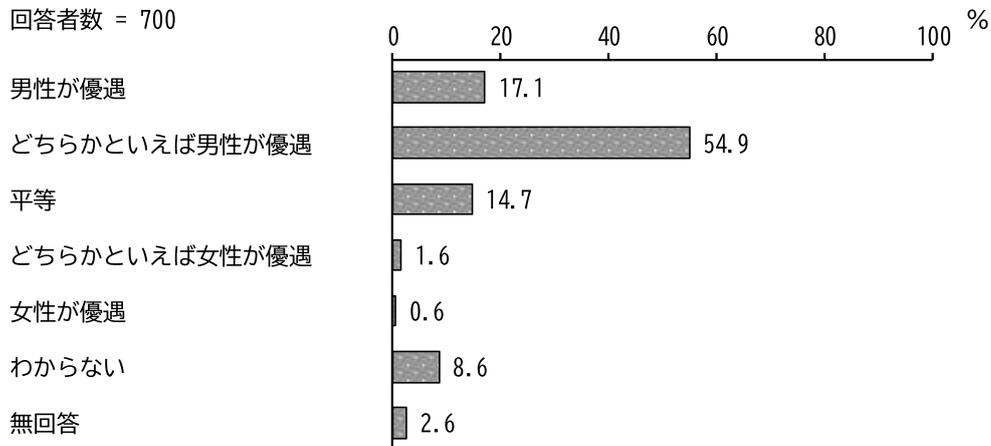
性別にみると、男性で「平等」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	男性が優遇	どちらかといえば男性が優遇	平等	女性が優遇	どちらかといえば女性が優遇	女性が優遇	わからない	無回答
全体	700	6.0	24.9	44.4	2.4	0.1	19.6	2.6	
男性	289	4.2	22.5	51.2	3.8	0.3	15.9	2.1	
女性	401	7.5	26.2	39.7	1.5	—	22.2	3.0	

J. 社会全体

「どちらかといえば男性が優遇」の割合が 54.9%と最も高く、次いで「男性が優遇」の割合が 17.1%、「平等」の割合が 14.7%となっています。



【性別】

性別にみると、男性で「平等」の割合が高くなっています。

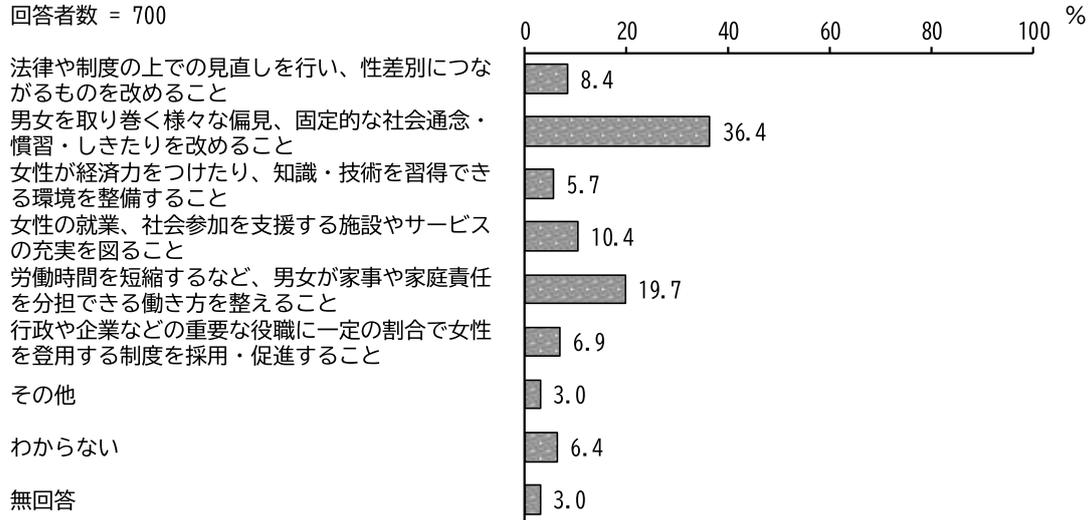
単位：%

区分	回答者数 (件)	男性が優遇	男性が優遇 どちらかといえば	平等	女性が優遇 どちらかといえば	女性が優遇	わからない	無回答
全体	700	17.1	54.9	14.7	1.6	0.6	8.6	2.6
男性	289	11.1	56.4	19.7	2.8	1.4	6.6	2.1
女性	401	21.7	53.9	10.7	0.7	—	10.0	3.0

問8 今後、男女が社会のあらゆる分野でもっと平等になるためには、どのようなことが重要だと思いますか。(〇は1つ)

「男女を取り巻く様々な偏見、固定的な社会通念・慣習・しきたりを改めること」の割合が36.4%と最も高く、次いで「労働時間を短縮するなど、男女が家事や家庭責任を分担できる働き方を整えること」の割合が19.7%、「女性の就業、社会参加を支援する施設やサービスの充実を図ること」の割合が10.4%となっています。

回答者数 = 700



【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数(件)	法律や制度の上での見直しを行い、性差別につながるものを改めること	男女を取り巻く様々な偏見、固定的な社会通念・慣習・しきたりを改めること	女性が経済力をつけたり、知識・技術を習得できる環境を整備すること	女性の就業、社会参加を支援する施設やサービスの充実を図ること
全体	700	8.4	36.4	5.7	10.4
男性	289	10.0	39.8	4.5	5.9
女性	401	7.2	34.7	6.5	13.2

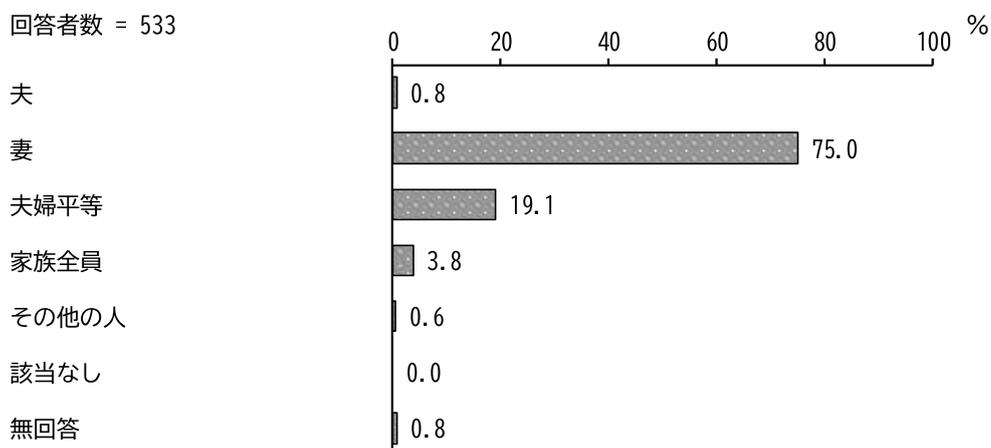
区分	労働時間を短縮するなど、男女が家事や家庭責任を分担できる働き方を整えること	行政や企業などの重要な役職に一定の割合で女性を登用する制度を採用・促進すること	その他	わからない	無回答
全体	19.7	6.9	3.0	6.4	3.0
男性	17.6	7.3	4.5	6.9	3.5
女性	21.4	6.5	2.0	5.7	2.7

【次の問9は、現在、配偶者がいる方（婚姻届を出していない事実婚を含む。）のみお答えください。】

問9 あなたの家庭では、次のAからEのことについて、主として誰が行っていますか。（それぞれ○は1つずつ）

A. 家事（炊事・洗濯・掃除等）

「妻」の割合が75.0%と最も高く、次いで「夫婦平等」の割合が19.1%となっています。



【性別】

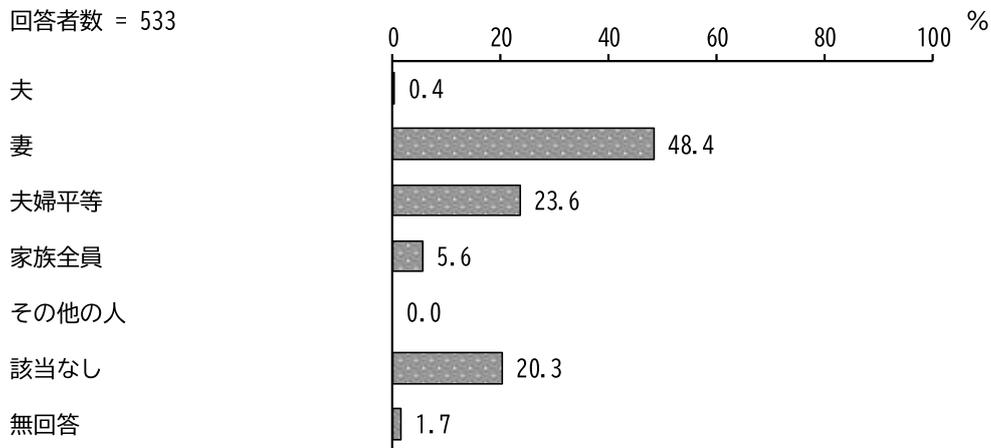
性別にみると、男性で「夫婦平等」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	夫	妻	夫婦平等	家族全員	その他の人	該当なし	無回答
全体	533	0.8	75.0	19.1	3.8	0.6	—	0.8
男性	210	1.0	70.5	24.3	3.8	—	—	0.5
女性	315	0.6	78.1	15.6	3.8	1.0	—	1.0

B. 育児（子どもの世話、教育・しつけ等）

「妻」の割合が48.4%と最も高く、次いで「夫婦平等」の割合が23.6%、「該当なし」の割合が20.3%となっています。



【性別】

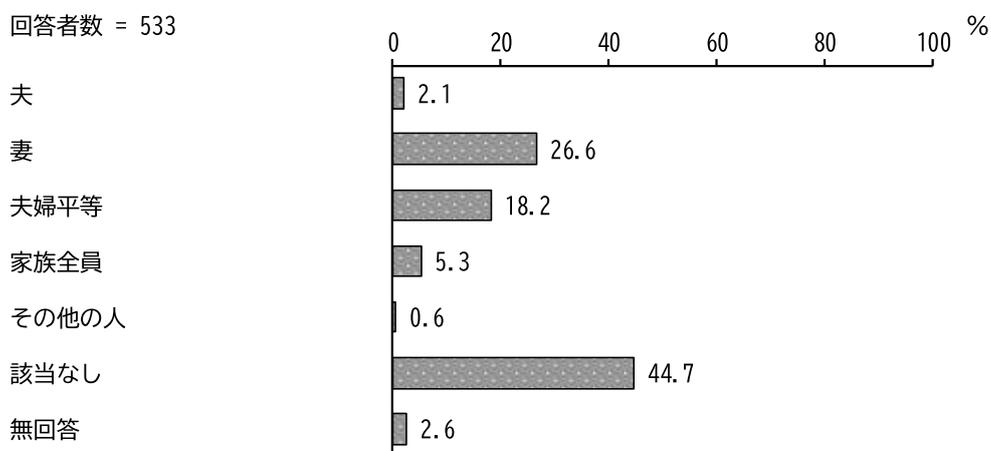
性別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	夫	妻	夫婦平等	家族全員	その他の人	該当なし	無回答
全体	533	0.4	48.4	23.6	5.6	—	20.3	1.7
男性	210	1.0	47.1	26.2	6.2	—	19.0	0.5
女性	315	—	49.8	22.2	5.4	—	20.0	2.5

C. 高齢者等の介護

「該当なし」の割合が44.7%と最も高く、次いで「妻」の割合が26.6%、「夫婦平等」の割合が18.2%となっています。



【性別】

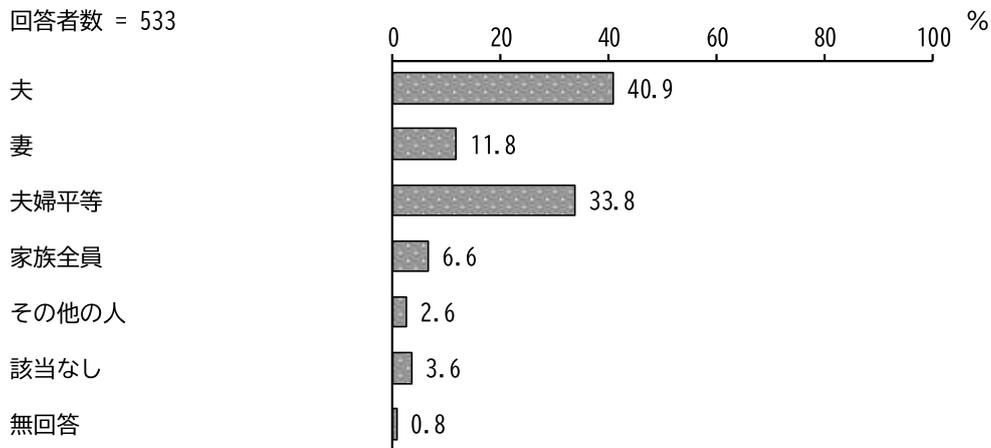
性別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	夫	妻	夫婦平等	家族全員	その他の人	該当なし	無回答
全体	533	2.1	26.6	18.2	5.3	0.6	44.7	2.6
男性	210	3.3	21.0	21.9	4.8	0.5	48.1	0.5
女性	315	1.3	30.8	15.9	5.7	0.6	41.6	4.1

D. 地域活動

「夫」の割合が40.9%と最も高く、次いで「夫婦平等」の割合が33.8%、「妻」の割合が11.8%となっています。



【性別】

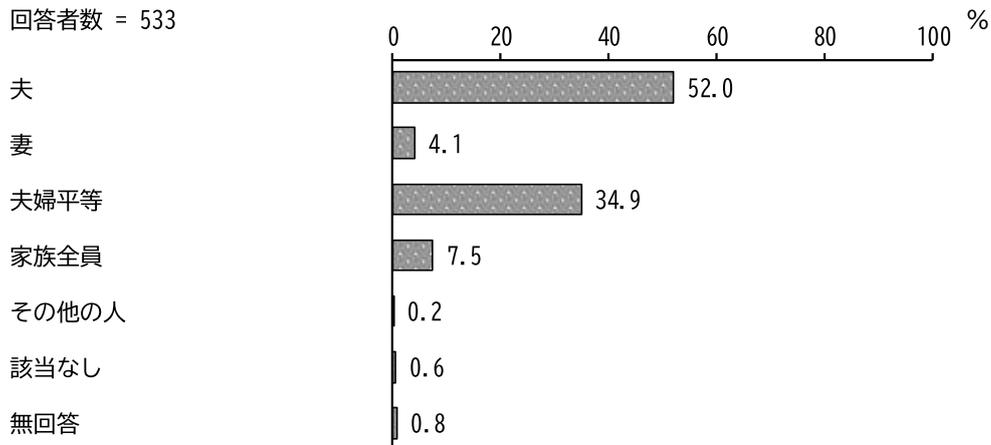
性別にみると、男性で「夫」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	夫	妻	夫婦平等	家族全員	その他の人	該当なし	無回答
全体	533	40.9	11.8	33.8	6.6	2.6	3.6	0.8
男性	210	47.1	11.4	30.0	4.8	2.9	3.8	—
女性	315	37.1	12.4	36.2	7.0	2.5	3.5	1.3

E. 生活費の確保

「夫」の割合が52.0%と最も高く、次いで「夫婦平等」の割合が34.9%となっています。



【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

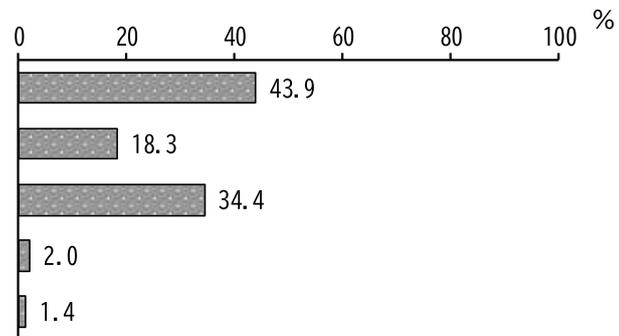
区分	回答者数 (件)	夫	妻	夫婦平等	家族全員	その他の人	該当なし	無回答
全体	533	52.0	4.1	34.9	7.5	0.2	0.6	0.8
男性	210	53.8	3.3	33.8	7.6	—	1.4	—
女性	315	49.5	4.8	36.5	7.6	0.3	—	1.3

問10 あなたは「男の子は男らしく、女の子は女らしく子どもを育てる」という考え方について、どのように思いますか。(○は1つ)

「男の子、女の子と区別せずに、同じように育てた方がよい」の割合が43.9%と最も高く、次いで「どちらともいえない」の割合が34.4%、「男の子は男らしく、女の子は女らしく」育てた方がよい」の割合が18.3%となっています。

回答者数 = 700

男の子、女の子と区別せずに、同じように育てた方がよい
 「男の子は男らしく、女の子は女らしく」育てた方がよい
 どちらともいえない
 わからない
 無回答



【性別】

性別にみると、男性で「男の子は男らしく、女の子は女らしく」育てた方がよい」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	男の子、女の子と区別せずに、同じように育てた方がよい	「男の子は男らしく、女の子は女らしく」育てた方がよい	どちらともいえない	わからない	無回答
全体	700	43.9	18.3	34.4	2.0	1.4
男性	289	37.7	28.0	30.8	2.1	1.4
女性	401	48.1	11.7	36.7	2.0	1.5

(3) ワーク・ライフ・バランスについて

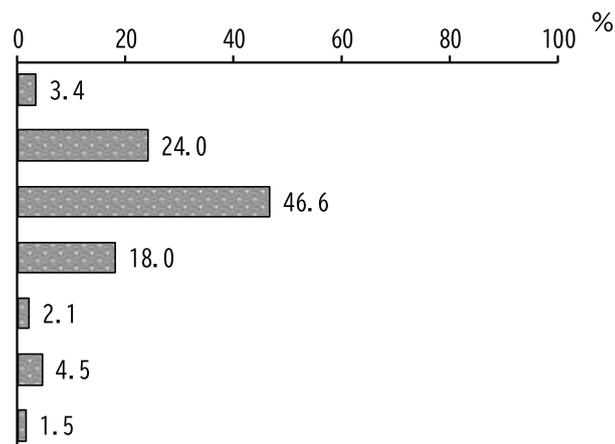
【次の問 11 から問 13 は、現在、職業に就いている方のみお答えください。】

問 11 あなたの働き方について、希望に近いものは次のどれですか。(○は1つ)

「家庭生活や地域活動と、仕事を同じように両立させたい」の割合が 46.6%と最も高く、次いで「家庭生活や地域活動にも携わるが、仕事を優先させたい」の割合が 24.0%、「仕事にも携わるが、家庭生活や地域活動を優先させたい」の割合が 18.0%となっています。

回答者数 = 534

家庭生活や地域活動よりも、仕事に専念したい
 家庭生活や地域活動にも携わるが、仕事を優先させたい
 家庭生活や地域活動と、仕事を同じように両立させたい
 仕事にも携わるが、家庭生活や地域活動を優先させたい
 仕事よりも、家庭生活や地域活動に専念したい
 わからない
 無回答



【性別】

性別にみると、男性で「家庭生活や地域活動にも携わるが、仕事を優先させたい」の割合が高くなっています。

単位：%

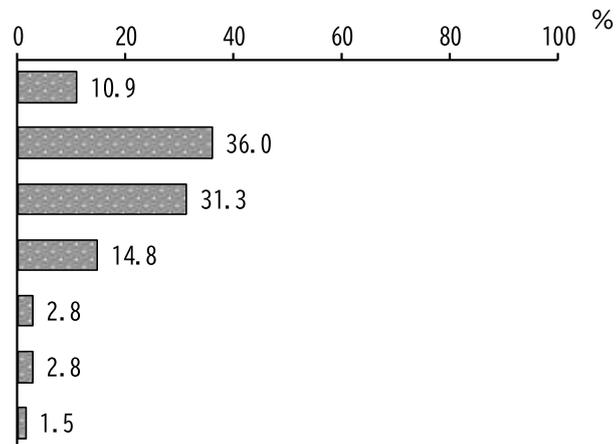
区分	回答者数 (件)	家庭生活や地域活動よりも、仕事に専念したい	家庭生活や地域活動にも携わるが、仕事を優先させたい	家庭生活や地域活動と、仕事を同じように両立させたい	仕事にも携わるが、家庭生活や地域活動を優先させたい	仕事よりも、家庭生活や地域活動に専念したい	わからない	無回答
全体	534	3.4	24.0	46.6	18.0	2.1	4.5	1.5
男性	241	5.4	34.0	42.3	11.6	2.9	3.3	0.4
女性	290	1.7	15.5	50.3	23.1	1.4	5.5	2.4

問 12 あなたの働き方について、現在の状況に最も近いものは次のどれですか。
(○は1つ)

「家庭生活や地域活動にも携わるが、仕事を優先させている」の割合が36.0%と最も高く、次いで「家庭生活や地域活動と、仕事を同じように両立させている」の割合が31.3%、「仕事にも携わるが、家庭生活や地域活動を優先させている」の割合が14.8%となっています。

回答者数 = 534

家庭生活や地域活動よりも、仕事に専念している
 家庭生活や地域活動にも携わるが、仕事を優先させている
 家庭生活や地域活動と、仕事を同じように両立させている
 仕事にも携わるが、家庭生活や地域活動を優先させている
 仕事よりも、家庭生活や地域活動に専念している
 わからない
 無回答



【性別】

性別にみると、男性で「家庭生活や地域活動にも携わるが、仕事を優先させている」の割合が高くなっています。

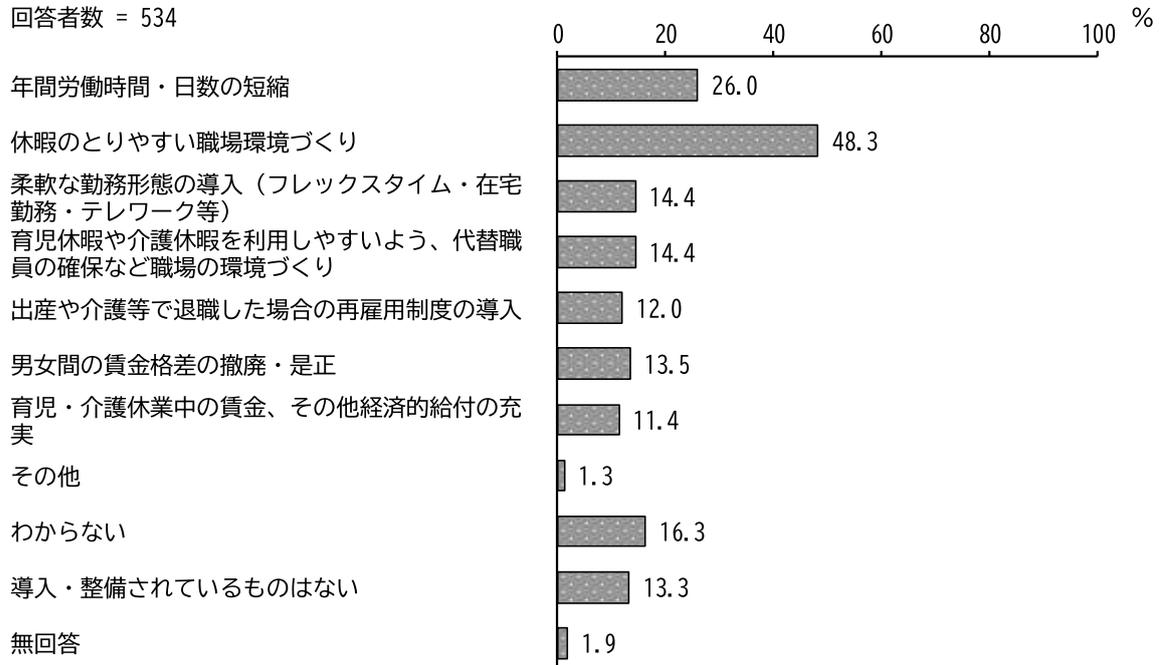
単位：%

区分	回答者数(件)	家庭生活や地域活動よりも、仕事に専念している	家庭生活や地域活動にも携わるが、仕事を優先させている	家庭生活や地域活動と、仕事を同じように両立させている	仕事にも携わるが、家庭生活や地域活動を優先させている	仕事よりも、家庭生活や地域活動に専念している	わからない	無回答
全体	534	10.9	36.0	31.3	14.8	2.8	2.8	1.5
男性	241	16.2	48.1	25.7	4.6	2.5	2.5	0.4
女性	290	6.2	26.2	36.2	22.8	3.1	3.1	2.4

問13 あなたの勤務先で、仕事と家庭の両立などのために導入・整備されているものは次のどれですか。(〇はいくつでも)

「休暇のとりやすい職場環境づくり」の割合が48.3%と最も高く、次いで「年間労働時間・日数の短縮」の割合が26.0%、「わからない」の割合が16.3%となっています。

回答者数 = 534



【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

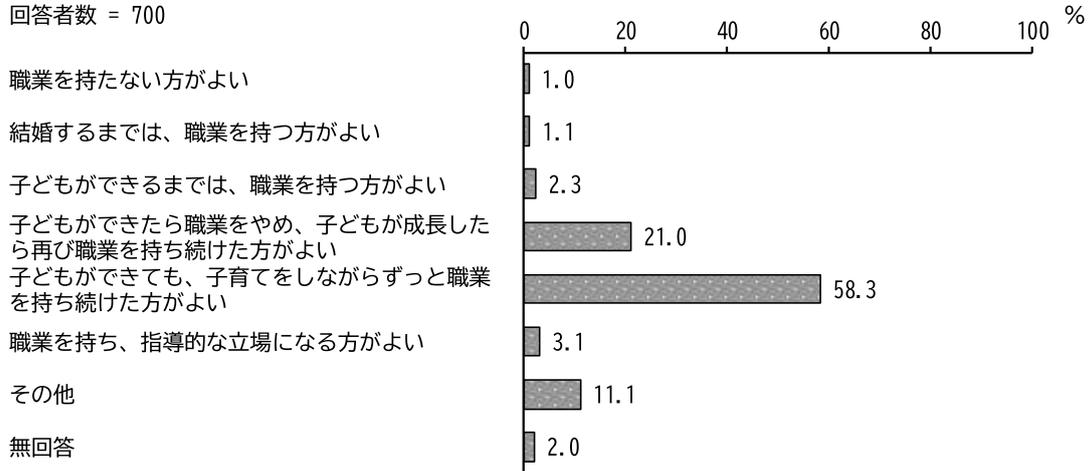
区分	回答者数(件)	年間労働時間・日数の短縮	休暇のとりやすい職場環境づくり	柔軟な勤務形態の導入(フレックスタイム・在宅勤務・テレワーク等)	育児休暇や介護休暇を利用しやすいよう、代替職員の確保など職場の環境づくり	出産や介護等で退職した場合の再雇用制度の導入
全体	534	26.0	48.3	14.4	14.4	12.0
男性	241	30.7	48.5	16.6	11.6	10.0
女性	290	22.4	47.9	12.8	16.9	13.8

区分	男女間の賃金格差の撤廃・是正	育児・介護休業中の賃金、その他経済的給付の充実	その他	わからない	い 導入・整備されているものはな	無回答
全体	13.5	11.4	1.3	16.3	13.3	1.9
男性	15.8	10.8	1.7	13.7	16.6	0.8
女性	11.7	12.1	1.0	18.6	10.3	2.8

問 14 女性が職業を持つことについてどう思いますか。(○は1つ)

「子どもができて、子育てをしながらずっと職業を持ち続けた方がよい」の割合が 58.3%と最も高く、次いで「子どもができたなら職業をやめ、子どもが成長したら再び職業を持ち続けた方がよい」の割合が 21.0%となっています。

回答者数 = 700



【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

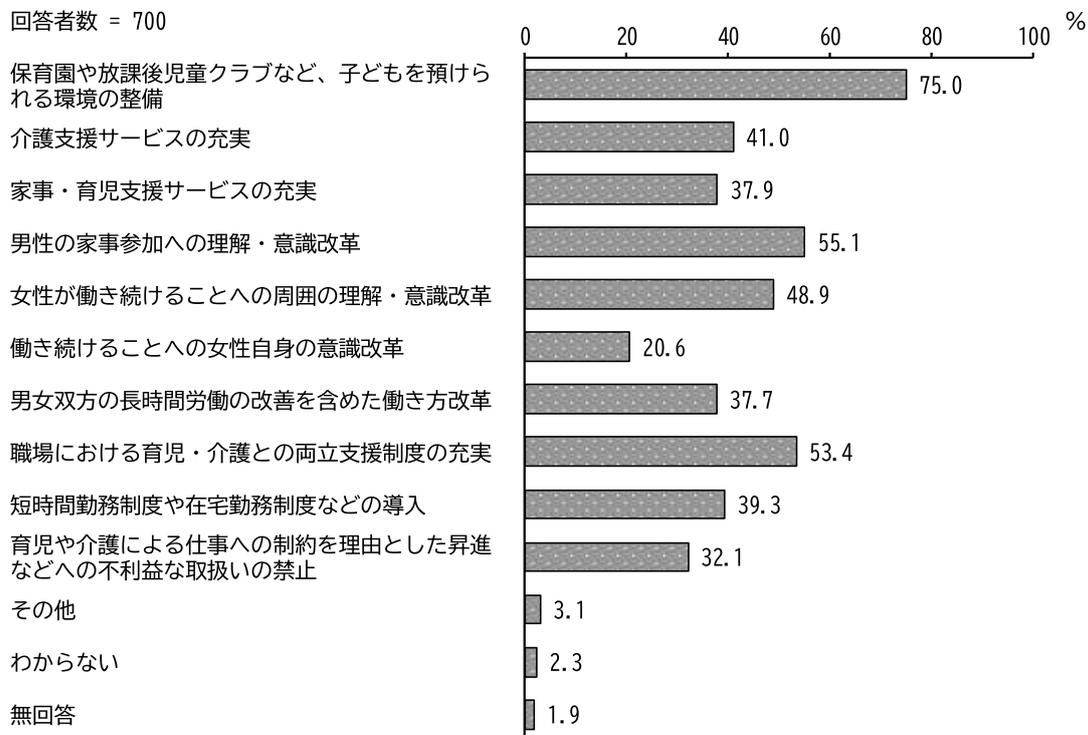
単位：%

区分	回答者数 (件)	職業を持たない方がよい	結婚するまでは、職業を持つ方がよい	子どもができるまでは、職業を持つ方がよい	子どもができたなら職業をやめ、子どもが成長したら再び職業を持ち続けた方がよい
全体	700	1.0	1.1	2.3	21.0
男性	289	1.4	1.0	2.8	24.2
女性	401	0.7	1.2	2.0	18.7

区分	子どもができて、子育てをしながらずっと職業を持ち続けた方がよい	職業を持ち、指導的な立場になる方がよい	その他	無回答
全体	58.3	3.1	11.1	2.0
男性	55.0	3.8	10.4	1.4
女性	61.1	2.7	11.2	2.2

問 15 女性が出産後も離職せずと同じ職場で働き続けるために、家庭・社会・職場において必要なことは何だと思えますか。(〇はいくつでも)

「保育園や放課後児童クラブなど、子どもを預けられる環境の整備」の割合が75.0%と最も高く、次いで「男性の家事参加への理解・意識改革」の割合が55.1%、「職場における育児・介護との両立支援制度の充実」の割合が53.4%となっています。



【性別】

性別にみると、女性で「男性の家事参加への理解・意識改革」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	保育園や放課後児童クラブなど、子どもを預けられる環境の整備	介護支援サービスの充実	家事・育児支援サービスの充実	男性の家事参加への理解・意識改革	女性が働き続けることへの周囲の理解・意識改革	働き続けることへの女性自身の意識改革
全体	700	75.0	41.0	37.9	55.1	48.9	20.6
男性	289	68.9	36.3	35.6	45.7	49.1	22.8
女性	401	80.3	44.4	39.2	62.1	48.9	19.0

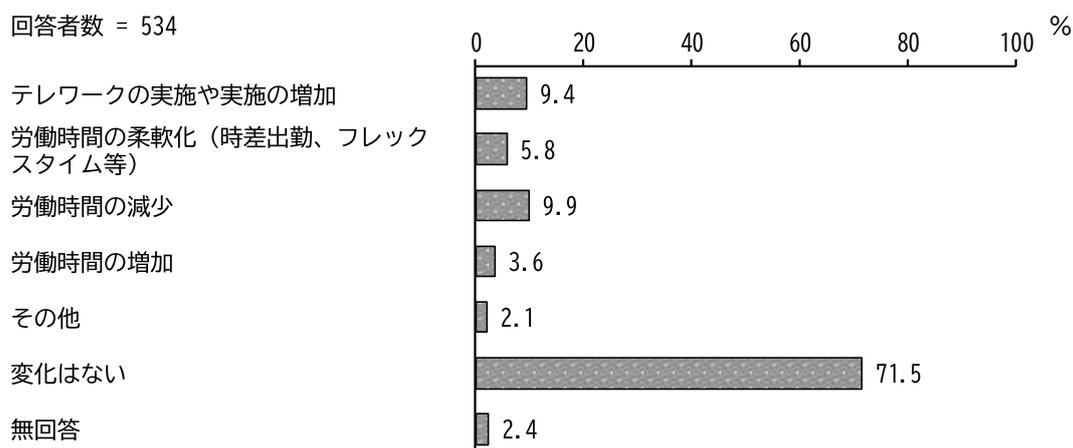
区分	た働き方改革 労働の改善を含めた男女双方の長時間勤務の改善	職場における育児・介護との両立支援制度の充実	短時間勤務制度や在宅勤務制度などの導入	育児や介護による仕事への制約を理由とした昇進など	その他	わからない	無回答
全体	37.7	53.4	39.3	32.1	3.1	2.3	1.9
男性	32.9	48.1	32.5	28.4	2.8	2.8	1.4
女性	41.1	56.9	44.6	35.2	3.5	1.7	2.2

(4) 新型コロナウイルス感染症に関する影響について

【次の問 16 は、現在、職業に就いている方のみお答えください。】

問 16 新型コロナウイルス感染症の拡大前に比べて、あなたの働き方に変化はありましたか。(〇はいくつでも)

「変化はない」の割合が 71.5%と最も高くなっています。



【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

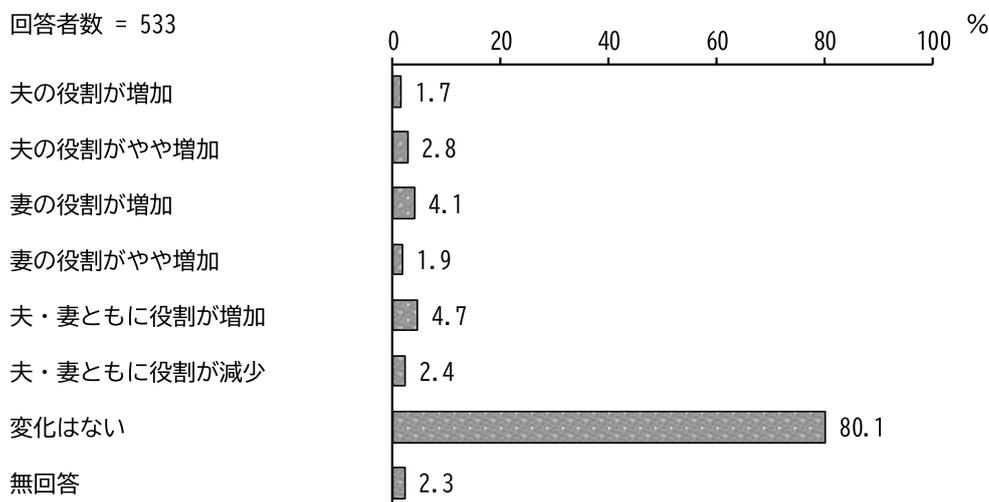
単位：%

区分	回答者数 (件)	テレワークの実施や実施の増加	労働時間の柔軟化 (時差出勤、フレックスタイム等)	労働時間の減少	労働時間の増加	その他	変化はない	無回答
全体	534	9.4	5.8	9.9	3.6	2.1	71.5	2.4
男性	241	13.7	8.3	12.0	3.3	1.2	67.6	1.7
女性	290	5.9	3.8	8.3	3.8	2.8	74.5	3.1

【次の問 17 は、現在、配偶者がいる方（婚姻届を出していない事実婚を含む。）のみお答えください。】

問 17 新型コロナウイルス感染症の拡大前に比べて、家事・子育て・介護・地域活動に関する夫婦間の役割に変化はありましたか。（○は1つ）

「変化はない」の割合が 80.1%と最も高くなっています。



【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

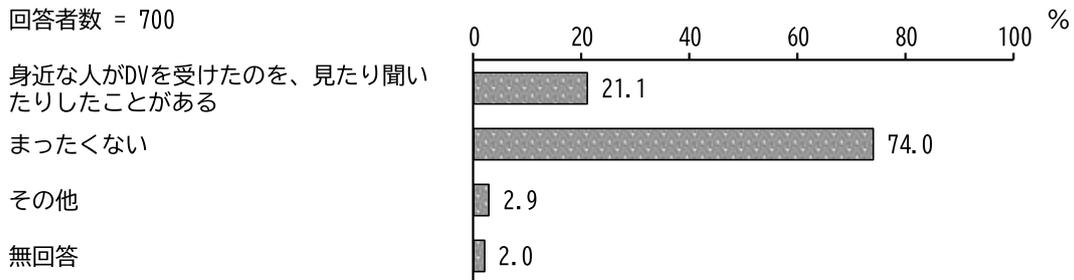
単位：%

区分	回答者数 (件)	夫の役割が増加	加 夫の役割がやや増	妻の役割が増加	加 妻の役割がやや増	増加 夫・妻ともに役割が	減少	夫・妻ともに役割が	変化はない	無回答
全 体	533	1.7	2.8	4.1	1.9	4.7	2.4	80.1	2.3	
男性	210	2.4	2.9	2.4	3.3	8.1	2.9	76.7	1.4	
女性	315	1.3	2.9	4.4	1.0	2.5	2.2	82.9	2.9	

(5) ドメスティック・バイオレンス (DV：配偶者・パートナーからの暴力) について

問 18 ドメスティック・バイオレンス (DV) に関して、あなたはこれまでに、配偶者や交際相手から暴力を受けている方を、見たことや聞いたことがありますか。
(○は1つ)

「身近な人がDVを受けたのを、見たり聞いたりしたことがある」の割合が21.1%、「まったくない」の割合が74.0%となっています。



【性別】

性別にみると、男性で「まったくない」の割合が高くなっています。

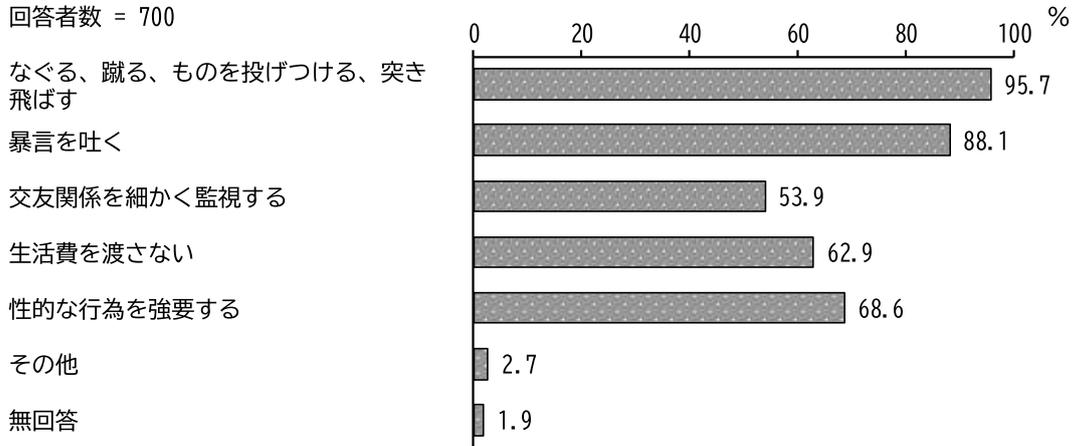
単位：%

区分	回答者数 (件)	身近な人がDVを受けたのを、見たり聞いたりしたことがある	まったくない	その他	無回答
全 体	700	21.1	74.0	2.9	2.0
男性	289	14.2	83.0	2.1	0.7
女性	401	26.2	67.6	3.2	3.0

問 19 あなたがドメスティック・バイオレンスだと思う行為は、次のどれですか。
(○はいくつでも)

「なぐる、蹴る、ものを投げつける、突き飛ばす」の割合が 95.7%と最も高く、次いで「暴言を吐く」の割合が 88.1%、「性的な行為を強要する」の割合が 68.6%となっています。

回答者数 = 700



【性別】

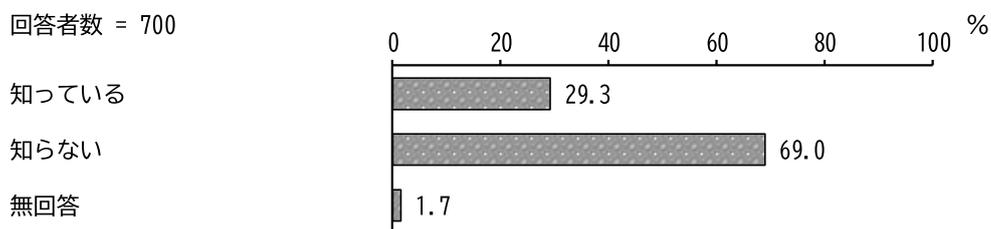
性別にみると、女性で「交友関係を細かく監視する」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	なぐる、蹴る、ものを投げつける、突き飛ばす	暴言を吐く	交友関係を細かく監視する	生活費を渡さない	性的な行為を強要する	その他	無回答
全体	700	95.7	88.1	53.9	62.9	68.6	2.7	1.9
男性	289	94.8	84.4	46.0	55.0	62.6	2.8	1.4
女性	401	96.3	90.5	59.1	68.1	73.1	2.7	2.2

問 20 ドメスティック・バイオレンスについての心配ごとがある場合の相談窓口を知っていますか。(○は1つ)

「知っている」の割合が 29.3%、「知らない」の割合が 69.0%となっています。



【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

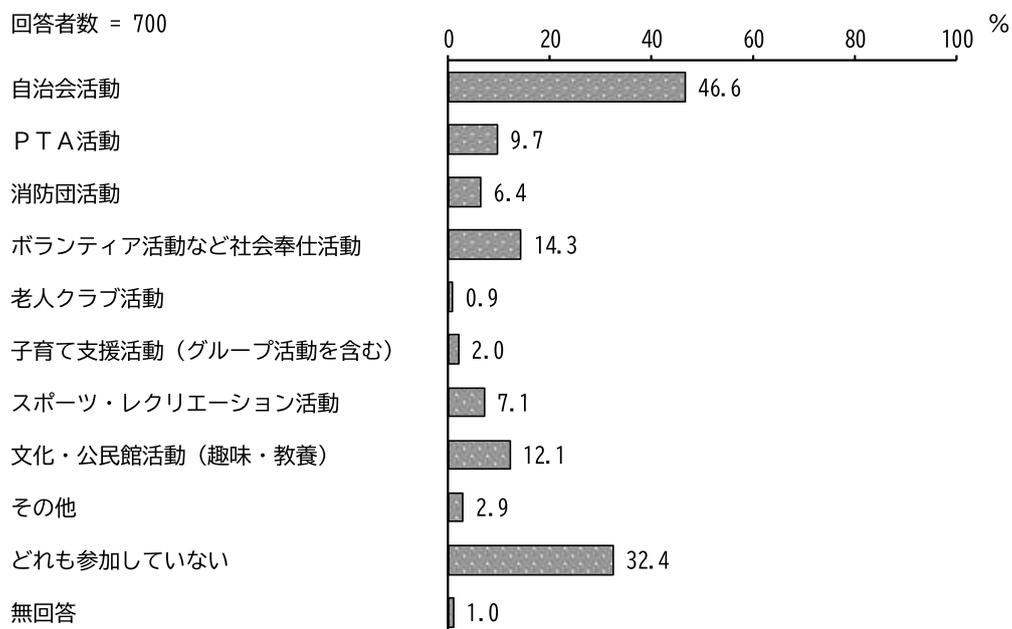
単位：%

区分	回答者数 (件)	知っている	知らない	無回答
全 体	700	29.3	69.0	1.7
男性	289	27.3	71.6	1.0
女性	401	30.4	67.3	2.2

(6) 地域活動や防災について

問 21 現在、あなたはどのような地域活動に参加していますか。(〇はいくつでも)

「自治会活動」の割合が 46.6%と最も高く、次いで「どれも参加していない」の割合が 32.4%、「ボランティア活動など社会奉仕活動」の割合が 14.3%となっています。



【性別】

性別にみると、男性で「自治会活動」の割合が高くなっています。

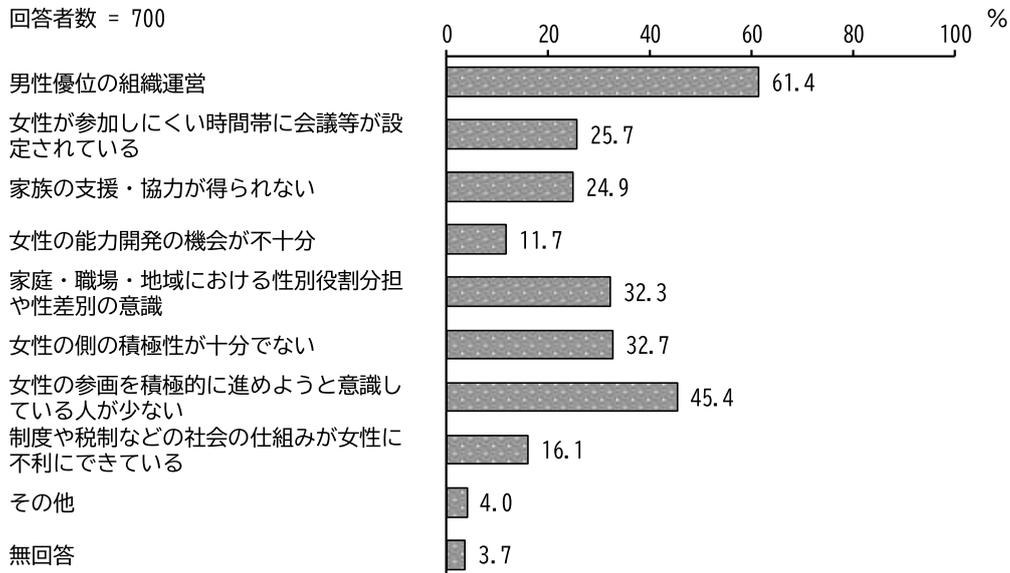
単位：%

区分	回答者数(件)	自治会活動	P T A 活動	消防団活動	ボランティア活動など社会奉仕活動	老人クラブ活動	子育て支援活動(グループ活動を含む)	スポーツ・レクリエーション活動	文化・公民館活動(趣味・教養)	その他	どれも参加していない	無回答
全体	700	46.6	9.7	6.4	14.3	0.9	2.0	7.1	12.1	2.9	32.4	1.0
男性	289	56.1	8.0	8.7	15.6	0.7	1.4	6.6	10.0	1.7	30.1	0.3
女性	401	39.7	11.2	5.0	13.5	1.0	2.5	7.7	14.0	3.7	34.2	1.2

問 22 女性の社会進出は進みつつありますが、町内会や自治会の長、審議会委員や議員等には、まだ女性が就くことが少ないのが現状です。このように、企画や方針決定過程への女性の参画が少ない理由は何だと思えますか。(〇は3つ)

「男性優位の組織運営」の割合が 61.4%と最も高く、次いで「女性の参画を積極的に進めようと意識している人が少ない」の割合が 45.4%、「女性の側の積極性が十分でない」の割合が 32.7%となっています。

回答者数 = 700



【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

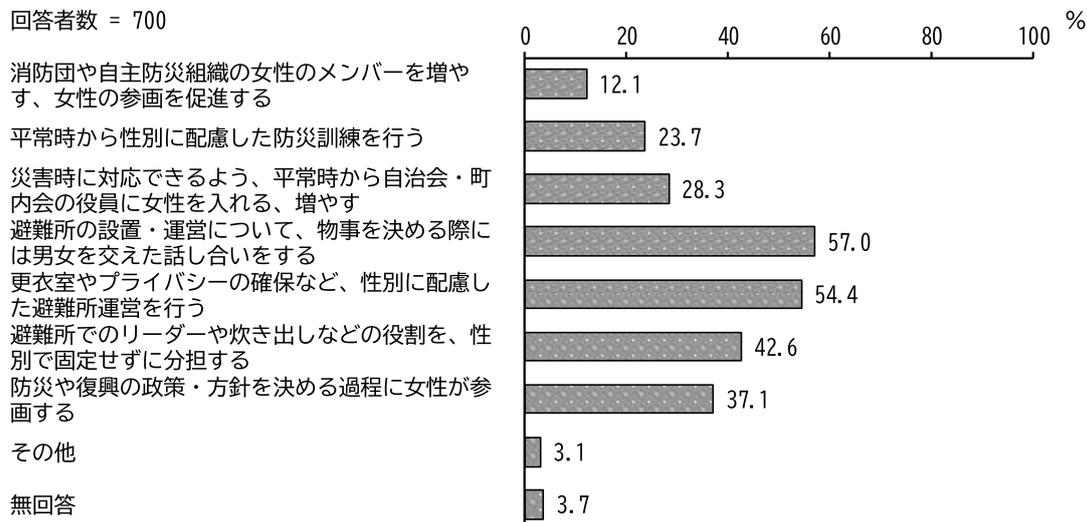
区分	回答者数 (件)	男性優位の組織運営	女性が参加しにくい時間帯に会議等が設定されている	家族の支援・協力が得られない	女性の能力開発の機会が不十分	家庭・職場・地域における性別役割分担や性差別の意識
全 体	700	61.4	25.7	24.9	11.7	32.3
男性	289	57.4	23.2	25.3	10.0	29.1
女性	401	65.1	26.9	24.4	13.2	34.9

区分	女性の側の積極性が十分でない	女性の参画を積極的に進めようと意識している人が少ない	制度や税制などの社会の仕組みが女性に不利にできている	その他	無回答
全 体	32.7	45.4	16.1	4.0	3.7
男性	34.9	50.2	14.2	4.8	3.1
女性	31.2	41.6	17.0	3.5	4.2

問 23 性別に配慮した防災・災害対応・復興対策の為にはどのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つ)

「避難所の設置・運営について、物事を決める際には男女を交えた話し合いをする」の割合が57.0%と最も高く、次いで「更衣室やプライバシーの確保など、性別に配慮した避難所運営を行う」の割合が54.4%、「避難所でのリーダーや炊き出しなどの役割を、性別で固定せずに分担する」の割合が42.6%となっています。

回答者数 = 700



【性別】

性別にみると、男性で「災害時に対応できるよう、平常時から自治会・町内会の役員に女性を入れる、増やす」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	消防団や自主防災組織の女性のメンバーを増やす、女性の参画を促進する	平常時から性別に配慮した防災訓練を行う	災害時に対応できるよう、平常時から自治会・町内会の役員に女性を入れる、増やす	避難所の設置・運営について、物事を決める際には男女を交えた話し合いをする
全体	700	12.1	23.7	28.3	57.0
男性	289	16.6	24.2	39.1	55.4
女性	401	8.7	23.4	20.7	58.4

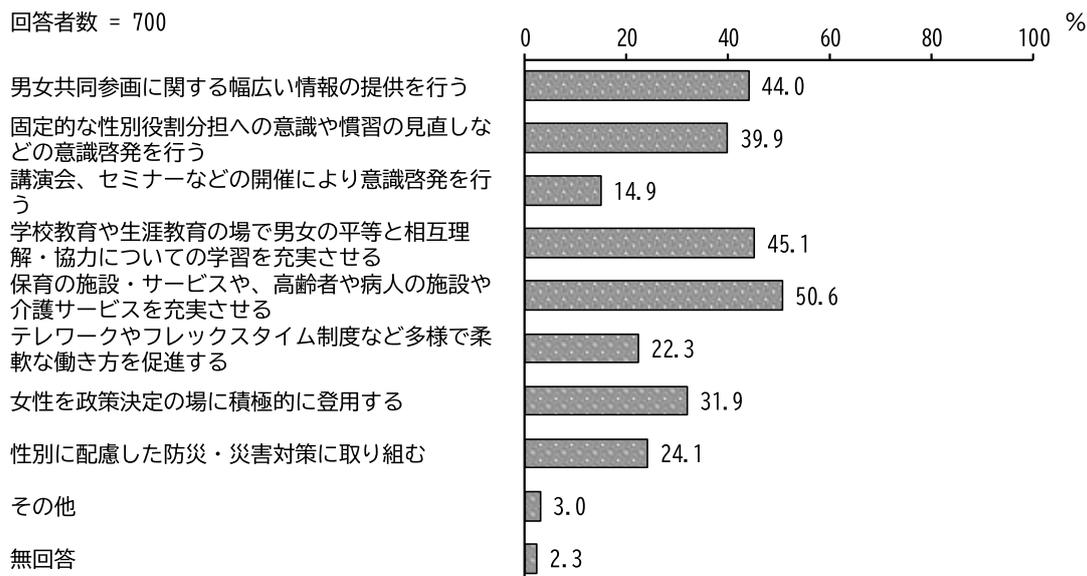
区分	更衣室やプライバシーの確保など、性別に配慮した避難所運営を行う	避難所でのリーダーや炊き出しなどの役割を、性別で固定せずに分担する	防災や復興の政策・方針を決める過程に女性が参画する	その他	無回答
全体	54.4	42.6	37.1	3.1	3.7
男性	46.4	36.7	36.0	3.8	3.8
女性	60.1	47.4	37.4	2.7	3.7

(7) 町の男女共同参画づくりの推進施策について

問 24 男女共同参画社会を実現していくために、今後、町はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(〇はいくつでも)

「保育の施設・サービスや、高齢者や病人の施設や介護サービスを充実させる」の割合が 50.6%と最も高く、次いで「学校教育や生涯教育の場で男女の平等と相互理解・協力についての学習を充実させる」の割合が 45.1%、「男女共同参画に関する幅広い情報の提供を行う」の割合が 44.0%となっています。

回答者数 = 700



【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数(件)	男女共同参画に関する幅広い情報の提供を行う	啓発を行う 固定的な性別役割分担への意識や慣習の見直しなどの意識啓発を行う	講演会、セミナーなどの開催により意識啓発を行う	学校教育や生涯教育の場で男女の平等と相互理解・協力についての学習を充実させる	保育の施設・サービスや、高齢者や病人の施設や介護サービスを充実させる
全体	700	44.0	39.9	14.9	45.1	50.6
男性	289	40.8	42.6	13.8	43.9	43.3
女性	401	46.1	38.4	15.2	46.4	55.4

区分	テレワークやフレックスタイム制度など多様な働き方を促進する	女性を政策決定の場に積極的に登用する	性別に配慮した防災・災害対策に取り組む	その他	無回答
全体	22.3	31.9	24.1	3.0	2.3
男性	18.3	35.6	26.0	4.2	2.1
女性	25.2	28.7	22.4	2.2	2.2

揖斐川町
男女共同参画に関する
町民アンケート調査結果報告書
令和5年10月

発行：揖斐川町役場総務部政策広報課
岐阜県揖斐郡揖斐川町三輪 133 番地
0585 - 22-2112
0585 - 22-4496